



燕市 GIGA スクール通信

燕市 ICT 教育推進協議会

8月1日（火）、燕市役所にて、燕市 ICT 教育推進協議会が開催されました。

協議会では、大きく以下の2点について協議しました。

- ① 燕市における ICT 教育推進に係る課題について
 - ② STEAM 教育事業について
- 協議会で話し合われた内容について、一部をご紹介します。



① 燕市における ICT 教育推進に係る課題について

- ・「特別教室でも、電子黒板や Wi-Fi を使えと良い」「電子黒板を増やすことが難しいのであれば、大型モニターでも良い」といった意見がありました。それらの意見を踏まえ、今後は各校に必要な台数はどれだけあるのかを調べ、可能な限り環境を整備していくことが大切であることを共通理解しました。
- ・「デジタル教科書など各種登録作業により、情報担当者に負担が生じている」という意見がありました。ICT 支援員の訪問が必要な状況が実際にあることを確認しました。
- ・「教職員研修について、教職員のニーズが変わってきているようだ」「どの授業のどの場面で使えるかという活用方法をもっと PR していく必要がある」といった意見がありました。研修の内容や方法を見直していく必要があることを共通理解しました。
- ・欠席連絡における「マチコミ」の活用について、話題になりました。「マチコミ」では具体的な病名（「〇〇病になった」など）を入れてはいけないという制限はあるが、欠席連絡での活用はできること、Google フォームを活用する方法もあることを確認しました。

② STEAM 教育事業について

- ・本事業に伴い、今年度 STEAM 教室が開設される燕中学校の現状について、燕中学校の委員から、「まずは部活動で使うところからスタートし、徐々に他の生徒に広げていく」「大規模な学校でこの教室を今後どのように活用していくかが課題」といった話がありました。
- ・他の委員からは、「機器の操作方法の習得や活用方法など、様々な課題があるが、新しい空間の中でしかできない新たな学びの姿を実現していくこと、それを燕市から発信していくことはとても価値がある」という意見がありました。

委員の皆様より、たくさんのご意見をいただき、大変充実した協議会になりました。ICT 教育推進について課題は山積していますが、本協議会で話題になったところを今後の取組に活かしていきたいと思います。

Web アプリの活用について

1 学期に、児童生徒のタブレット端末における新しい web アプリの活用について、いくつかの学校から相談がありました。以下の3つを認めました。まだ活用していない学校については、各校の判断で必要に応じて活用していただいて構いません。今後、その他の新しいアプリを活用したい場合は、ICT 担当指導主事に予めご相談ください。

☐ Padlet（パドレット）

<https://ja.padlet.com/>

☐ Canva（キャンバ）

https://www.canva.com/ja_jp/

☐ 桃太郎電鉄教育版

<https://www.konami.com/games/momotetsu/education/>